

世界の笑顔を愛知万博に集めるアートディレクター

みず 水 谷 孝 次 さん(53)

ひと



世界の街角や公園で笑顔の写真を撮り続けている。昨年7月にスタートして18カ国計約8千人。あと数カ国を回り、作品は3月25日に開幕する愛知万博の「愛・地球広場」

で大画面に映し出される。広場のシンボル企画「メリーエクスポ」。メリーは「幸せな」「楽しい」という意味だ。もともになったのは、震災から復興を進める神戸や9・11後のニューヨークの笑顔。一人ひとりの大きなポスターにして工事現場のフェンスなどに並べ、評判を呼んだ。

大学卒業後、デザイン学校に通い広告業界に入り、企業のポスターで活躍。福岡ダイエーホークスのタカノロゴも担当した。ワルシャワ国際ポスタービエンナーレでは金賞を受賞。その後、米国旅行中にバスの少女たちの自然な笑いに思わずカメラを向けた。「みんなをだます商業ポスター

はもういい」と思った。

昨年9月1日は、入学式に集まる笑顔を撮ろうとモスクワにいた。北オセチア共和国では、この日を狙って武装集団が小学校を占拠。モスクワでも、地下鉄でテロ事件が起きていた。心配するスタッフを「こういうときこそ笑顔」と説得し、クレムリン近くの小学校へ。着飾った新生や家族の笑顔を収めた。コンパクトカメラ2台を持ち、2枚目で「自然な表情が出てくる瞬間」をねらう。

「世界のどこよりも、東京で撮る笑顔が難しかった」

文 六郷 孝也
写真 新井 義顕



©朝日新聞社 2005年
〒104-8011 東京都中央区築地5丁目3番2号
朝日新聞東京本社
電話 03-3545-0131